科目名				授業形態			担当教員名					
理学療法概論Ⅱ				講義			鮫島 一雄					
時間数	時間数(単位数)				授業回数			年次			開講時期	
	30	時間	(1	単位)		15	口		2	年次	前期

授業の目的・概要

次年度の臨床実習を目前にして、今までの単なる知識の詰め込みだけでは、実際の臨床実習では不十分である。 この授業では、臨床実習に必要になるPT学生としての資質・知識面および問題解決能力の向上を目的とする。 そのために、今までの記憶が中心であった授業でなく、基本的な知識をすでに習得しているという前提で、小テ スト・口頭試問を随時行っていく。

授業の到達目標

・理学療法用語を理解する ・理学療法過程を理解する ・理学療法過程に沿って考えられる ・臨床推論を理 解する ・ガイドライン、クリニカルパスを理解する ・SOAPを理解する ・電子カルテと紙カルテの違いを知 る ・診療報酬制度の概略を理解する

授業計画

- 回内容
- 1 オリエンテーション 理学療法業務(理学療法士ができること)について
- 2 理学療法過程1(PDCA とEPDCAサイクル、クリニカルリーズニング)
- 3 理学療法過程2 (情報収集)
- 4 理学療法過程3(患者の問題点の抽出)(医師からの指示・処方箋)
- 5 理学療法過程4(情報の解釈/統合と解釈)
- 6 ロートンモデル
- 7 評価の視点について
- 8 ボトムアップからトップダウンへ
- 9 臨床推論
- 10 主訴・要望・ニーズ ホープ 理学療法目標
- 11 エビデンス ガイドライン クリニカルパス
- 12 社会保障とは 保険診療とは
- 13 診療報酬 診療記録について 診療記録の書き方 電子カルテと紙カルテ
- 14 POSとPOMRについてSOAPの意味と内容
- 15 SOAP演習 授業まとめ

成績の評価法と基準

種別	割合	評価基準・その他備考
定期試験	100%	試験内容は、小テストに準じる。
レポート		
小テスト		授業中に数回実施する。
平常点		授業への出席状況と授業態度等。
その他		
441年41日	ルニット	して夢上で70上21」の担人は、専物学験を4を除すっ

自由記載 |小テストと平常点で70点以上の場合は、定期試験を免除する。

教科書

書名	著者・編集者名	出版社名
理学療法概論テキスト	監修 細田多穂	南江堂
理学療法概論 I Ⅱ 28期生資料 (1年次配布分)	担当教員作成分	
理学療法概論Ⅱ28期生資料(2年次配布分)	担当教員作成分	

自由記載 必要に応じてプリントを配布する。

参考文献

書名	著者・編集者名	出版社名
漢和辞典、英和辞典、等		

自由記載

備考